

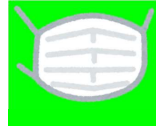
2022年4月7日

図書館便り・お知らせ 2021年2号



さくらさく
(桜咲)

— 図書館 来てね! —



* 写真左から・午後の土手堤にお母さんと男の子が座っています。春はほのほのです・夕方5時、陽が延びてきました。チューリップも桜も春の花です。生徒たちの声もうすぐ聞こえます(4月6日撮影)
 ・バス停近くのムスカリ(グレープヒヤシンス)。花言葉は、通じ合う心・明るい未来です(4月7日撮影)
 * 辛子菜とは、「葉菜として古くから渡来。春、黄色小型の十字花をつける。葉は辛みがあって塩漬けにする。種子を粉末にした物が辛子。また近似の別種にセイウカラシナがあり、マスタードを製す」
 ・菜の花とは、「アブラナの花。また、アブラナ。菜の花や月は東に日は西に(蕪村)」(広辞苑)

*「図書館に来てほしいです」この願いを4冊の図書館紹介の本から紹介します

- ①『みんなでつくろう学校図書館』成田康子著 岩波ジュニア新書「図書館を自分たちの居場所にする」(63頁参照)・図書館の窓には、土手堤の季節(花・空・雲・夕陽・富士山!)が映えます
 ・L字ソファもあります。新聞や雑誌もあります。自習も歓迎します⇒「図書館を自分たちの居場所にしてください」・オリエンテーションで、図書館の使い方(図書分類・本の見つけ方)や本の世界の広がりのお話、朗読も予定しています⇒オリエンテーションの前に探検してみませんか?
- ②『読みたい心に火をつけろ!』木下通子著 岩波ジュニア新書「学校全体で「読む」を育む」(53頁参照)・「ビブリオバトル」や「POP」など、今年も企画します
 ・「朝読書」といわれて・・・⇒何を読むか? どう読むか? 読んで誰と話すか? ⇒多読・おしゃべり、これがネイティブな言語・文化の自然な学び方だと思います⇒好きなことは楽しいです⇒司書は図書館の案内人です⇒ご相談ください

③『高校図書館デイズ』成田康子著 ちくまプリマー新書「遠距離通学と読書の時間」(160頁参照)
 ⇒「本を読んでいると(電)車内でもそこだけ自分のテリトリー、みたいな感覚になる時がある・・・本を読んでいる間は(居心地がよくなくても)あまり気にならなくなる・・・読んでいる＝本に書いてある光景が頭に映し出されているような状態になる(教科書だと弱いように思う)」⇒好きな本の世界へ、時間を決めて、どっぷりつきませんか?

④『図書館で調べる』高田高史著 ちくまプリマー新書「分類からの発見」(15頁参照)
 ⇒図書館の使い方(図書分類・本の見つけ方)⇒探求学習⇒図書館のルール(図書分類と特色(別置・コーナー展示)を伝えたいです⇒学校図書館を自由自在に使えれば、すべての図書館に応用できます⇒将来の大学レポートや卒業論文もこの延長線上で同じです



*好きこそ物の上手なれとは、「好きなればこそ、飽きずに努力するから、遂にその道の上手となる」(広辞苑)⇒本は友だちです。マイペースで、読み続けてください。

* 図書館イベント(全生徒に発信)を紹介します

* 図書委員を志す君は積極的に参加してください

- ①「朗読イベント」朗読を聞く会(お知らせします)と「図書館練習会」(土曜授業日の昼過ぎ頃)を企画します。絵本や詩の朗読をまず聞いてみてください。練習会は、声の出し方から始めます
- ②「茨城県中央図書館・読み聞かせコンクール」・今年2月大会に参加しました。来年2月大会を練習してめざします*「NHK杯全国高校放送コンテスト 茨城県大会 朗読部門(予選6月)」他検討します
- ③「ビブリオバトル」ビブリオバトル・デモンストレーション(実演・説明)・予選会から「2022図書館ビブリオバトル大会」校内大会を企画します⇒全国大会へ参加も検討します。練習会もします
 *「2023年度 筑波大学 知識情報・図書館学類」の推薦入試の面接は、<ビブリオバトル>です!
 ⇒「人を通して本を知る。本を通して人を知る」これは、ビブリオバトルの目的ですので、入試の面接員は、その様子を観察します。「面接員は、自分の意見をうまく伝えられるか、協調的な質問ができるか、質問の意図を汲んで的確に回答できるかを評価します」
- ④「第三回江戸取図書館POP大賞」を実施します。図書館に入賞作品を展示しています
- ⑤「紫峰祭」に向けてのイベントを企画します
 *図書館の仕事(貸出返却・書架整理・清掃等)を手伝ってくれることは、大切です。そこにとどまらず、図書館の目標は、「本を通して豊かな人間性を身につける」ことです。豊かな人間性への近道は、「読んで誰と話すか?」⇒多読・おしゃべり、これがネイティブな言語・文化の自然な学び方だと思います。いつまでも本と友だちでいてください。図書委員はぜひ続けてほしいと思います⇒好きなことは楽しいです⇒好きな本の世界へ、時間を決めて、どっぷりつきませんか?
 ・図書委員の経験を活かして、リーダーや委員長に育ってほしいです (司書 白井大治)